

2024(令和6)年度 伊賀市下水道事業の主な事業（実施成果）

し尿や生活排水を処理する汚水処理施設は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全などに重要な役割を担っています。伊賀市では、生活排水処理施設の整備率の向上を目指して事業を進めています。



【基本方針】 持続可能な下水道事業

【主要施策】 安全で安定した下水道事業の持続

- ・ 処理場の改築更新(下水道ストックマネジメント)
- ・ 処理場の耐震補強計画策定(総合地震対策)

ストックマネジメント事業・総合地震対策事業

【実施計画】

ストックマネジメント計画に基づいて、上野新都市浄化センターの汚泥処理設備の改築更新を行います。また、耐震補強計画策定を行います。

【実施成果】

ストックマネジメント計画に基づいて、上野新都市浄化センターの汚泥処理設備の改築更新に着手しました。また、耐震補強計画策定を実施しました。

担当課：下水道課



【基本方針】 環境への貢献

【主要施策】 生活環境の保全や水環境の再生

- ・ 未普及地域の解消
- ・ 水洗化率（下水道接続率）の向上

合併処理浄化槽の整備

【実施計画】

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止及びし尿の適切な処理による生活環境の保全対策として、合併処理浄化槽を設置しようとする方に補助金を交付します。

【実施成果】

2024（令和6）年度では、汲み取り式便槽や単独浄化槽から合併処理浄化槽へ42基の転換が図られました。また、合併処理浄化槽設置整備事業として、個別合併処理浄化槽148基に対し補助金を交付しました。

2025（令和7）年3月末時点における水洗化率は、約79.3%です。

2024（令和6）年度より合併処理浄化槽への転換促進の強化を図るため、単独浄化槽に加え、汲み取り式便槽の撤去費用に対しても補助金を交付できるよう、2023（令和5）年度において、補助制度の拡張を図りました。

担当課：下水道課



【基本方針】 経営の効率化

【主要施策】 経営効率化の推進

- 業務の効率化
- 民間委託の推進

民間委託の推進

【実施計画】

民間のノウハウや創意工夫を活かした業務の効率化と市民サービス向上の観点から、施設維持管理業務における委託範囲の拡大、水道業務を含めたワンストップサービス提供のため、上下水道事業における料金・受付窓口業務の一体的な民間委託を実施します。

【実施成果】

市民サービスの向上の観点から、業務の効率化、コスト縮減などを目的として、2024（令和6）年度より下水道施設の維持管理範囲を拡大しました。また料金事務、窓口業務において上下水道事業を一体的に民間委託しました。

この結果、施設維持管理業務の効率化が図られました。また、上下水道事業における窓口の一元化ワンストップサービス実現により、業務効率化と市民サービスの向上が図られました。

担当課：経営企画課